

## 馬橋北小学校 講座

### 「読む力を子どもたちに」

#### 1. 子どもにとって本とは？

なぜ本を読むのか？ 読書はなぜ大切か？

「子どもの読書活動の推進に関する法律」2001 年（平成 13 年）12 月制定

家庭で、父母（祖父母）が読み聞かせ

保育所（幼稚園）で、教師（保育士）が読み聞かせ

学校で、教師、読み聞かせボランティアが読み聞かせ

子どもが自ら、絵本（本）を手にとり  
読書に勤しむようになる。

「本を読む」ことしか得られない力 → 記憶力・思考力・想像力

#### 2. 家庭での子どもの読書について

お父さん、お母さんが本を読んでいますか？  
親の後姿

#### 3. 集団への読み聞かせの方法

本を読んでおく、めくっておく、開いておく

“人前に立つ以上は事前にしっかりと読み込みをして、自分で納得のいく読み方を決めておくようにしたい”

＜別紙＞参照

#### 4. プログラムの組み方

##### (1) プログラムを作る前に

・子どもたちのことをよく知っておくこと。

読み聞かせをしてもなかった経験がどのくらいあるか。

クラスの状況はどうか。

学校の行事、授業では、今、どんな事を学んでいるか。

★ より多くの情報を得ておくの良い。

・キーワードで考える

特定の相手に継続して行う学校などの場合、最初は手探りなので、季節感とか、食べもの、

ナセンスの本などで集中させる。

・季節や行事にあったものを考える。

・学年に合わせて考えるが、内容をあまり高めに設定しない。

★ まずは、大多数の子が楽しめるものを。